

**『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』  
実施レポート**

学校名	庄原市立粟田小学校	実施日	地区民運動会（6月2日）
担当教員名	田中 孝明	実施学年・人数	全学年23名

学校・学級紹介	<p>本校は、中国地方の山間部にある小規模校で、本年度は、全校児童23名（低学年8名、中学年9名、高学年6名）です。子どもたちは、毎日遠距離を元気よく歩いてきている。</p> <p>休憩時間には、全校外でよく遊んでいるが、少人数のために、サッカーや野球等の球技をする児童には偏りがあり、やらない児童のほうが多い。また、1年生の児童の中には、スポーツテストの質問紙のときに、運動をするのがきらいと答えた児童が多かった。</p>
実施内容	<p>本校は、6月の第1日曜日に地域の運動会とあわせて、運動会を実施している。地域の方にタグラグビーのことを知っていただくことと、低学年でもわかりやすいゲームであるということで「タグとり鬼（本校では、しっぽとりゲーム）」を種目として取り入れた。</p> <p><b>【ルール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>赤チームは黄・赤、白チームは青・緑をつけて、トラックの両サイドに分かれて入場する。</li> <li>ピストルの合図とともに、タグをとりにいく。</li> <li>1回目終了後、キャプテンがタグを集めて本部席前で数を数える。</li> <li>タグを返し、2回目を行う。</li> <li>2回目終了後、1回目と同じようにタグを数える。</li> <li>合計で多かったほうが勝ち。</li> </ul>
指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>とりにいく人、低学年を守る人を決めて練習させる。</li> <li>タグをとるときは、「タグ」と声をかける。</li> <li>両方とられたときは、その場にすわる。その後、自分のサイドにかえる。</li> <li>無理やりとったものや、落ちているのをとったものは点には入れない。</li> <li>低学年のタグについては、高学年が集めるようにする。</li> <li>ぶっかったり、おしたりするのは禁止とする。</li> </ul>
感想・印象 今後の展望	<p>この活動は、これ以後社会見学の際のレクリエーションや全校レクリエーション等で子どもたちが中心になって行うレクリエーションで実施することができた。走力によって個人差があるが、どの子も短時間でしっかり体を動かすことができるスポーツである。また、「運動がきらい。」と言っていた子どもが喜んで運動するようになっている。</p> <p>現在は、「タグラグビーガイドブック」に書いてある練習方法をボール運動として体育の授業に取り入れている。ただ、1学年の人数が少人数のために、試合ができるまでにいたっていない。</p> <p><b>【来年度にむけて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全校でできるレクリエーションとして行う。</li> <li>クラブや合同体育の時間を設定し、試合ができるようにする。</li> </ul>